



予算特別委員会

委員長 市山 和幸

議案審査状況

6月定例会では、平成20年度一般会計補正予算について審査した。採決の結果、原案可決した。審査の中で出された主な質疑と答弁は次のとおり。

Q 地域振興基金繰入金、沿岸漁業繰入金の充当先は。
A 地域振興基金は、黒瀬の公衆トイレ改修1千700万円。池田川の改修1千万円。単独事業の道路改修2千300万円の計5千万円。沿岸漁業基金は栽培漁業センターの追加補正の500万円。

Q 合併特例債（基金造成分）の借入限度額は。
A 限度額は23億7千万円。最終的には20億円。

Q 離島航空路線安全整備事業費の具体的な使途は。
A ORC(株)の機体整備補助で壱岐、対馬、五島で1千万円ずつ負担、平成21年度は467万円、平成22年度は1千133万円の予定。

Q 裁判員制度導入に伴う電算シ

ステムの内容と選任の方法は。

A 住民基本台帳の処理システム改修。裁判員候補の選任は各市町村の選挙管理委員会がくじで決める。本市においては、40人〜50人の予定。

Q 自主防災組織備品整備費が企画費と消防費に区別されてある理由は。

A 助成の上限が政策企画課で200万円、消防本部では100万円。

Q 自治会長の報酬は各町どのような状況か。
A 四町ごとに違う。今後、統一に向けて検討したい。

Q 交通指導員は何人か、今回何人が改選されるのか。
A 定員数は32人で現在22人、今回5人選任。

Q 障害者福祉計画策定委員会は2回開催で十分か。
A 必要であれば回数を増やし、補正で対応したい。

Q 備品購入費95万円のパソコンは何の事業でどこに設置してあるのか。
A ピュアサポート事業で100%県の補助、かたばる病院内の障害者地域活動支援センターに設置。

Q 堆肥センターの補助率。
A 敷地造成工事の補助は国が55%、県が20%。

Q 21世紀漁業担い手促進事業の補助内容は。
A 平成17年度から昨年まで5隻、今回4隻、補助内容は変わっていない。

Q 壱岐の夏祭りフェア事業の内容は。
A 博多駅前ホテル日航福岡内で、7月1日から、8月31日の2ヶ月間、壱岐の食材を用いた料理やイベントを紹介。市観光協会に委託。

Q 清石浜海水浴場で花火厳禁、焼肉厳禁の立て札が出ているが、観光客に影響があるのでは。
A 法的規制は遵守する必要があるが、早急に対策について結論を出したい。

Q 国民宿舎「壱岐島荘」の整備費726万円は今後どのようにするのか。
A 施設の老朽化も進んでいるので、整理統廃合も含めて対処していく。

Q まちづくり支援総合事業の内容は。
A 長崎県福祉まちづくり推進条例に基づき、今回は長嶋家（芦辺町）の屋根と床下のシロアリ等の修理。補助率は県が3分の1、市が3分の1。現在、市内で10ヶ所登録されている。

Q 文化財保護費の情報案内板設置500万円の内容。
A 100%補助金を活用。文化財に限らず、総合案内板として作成予定。



壱岐の夏祭りフェアで披露される壱岐神楽（博多駅前ホテル日航福岡）



楽しい夏休み（H20.7.27 芦辺町清石浜）



総務文教常任委員会

委員長 中田 恭一

議案審査状況

6月定例会では、6件の付託を受け、審査を行った。採決の結果、全案可決した。主な内容は次のとおり。

吉岐市合併振興基金条例

合併特例により、地域振興を図るための基金設置。

吉岐市ふるさと応援基金条例

吉岐を愛し、応援する方からの寄附金を適正に管理するための条例制定。

吉岐市立一支国博物館条例

現在建設中の博物館を設置するための条例制定。

過疎地域自立促進計画(変更)

市民病院医師公舎建設や堆肥センター建設等に過疎対策事業債を活用するための計画変更。

郷ノ浦辺地、武生水A辺地、武生水B辺地(変更)、武生水C辺地(変更)、沼津B辺地及び布気辺地に係る総合整備計画

各地区消防設備や道路改修に過疎対策事業債を活用するもの。

財産の無償貸付

県立埋蔵文化財センター建設に伴い、敷地を県へ30年間無償貸付するもの。

最低賃金の引き上げと制度の更なる改正、中小企業支援を求める陳情

更に慎重審査を必要とするため、継続審査とした。

閉会中の委員会継続調査(7月30日)

財産台帳の進捗状況の調査、県立埋蔵文化財センター・市立一支国博物館建設予定地および㈱マツオ(半導体関連部品製造業)の現地視察、いきのしま・おやこ文庫代表濱裕子氏および市内校長会との意見交換会を行った。

県立埋蔵文化財センター・市立一支国博物館建設予定地および㈱マツオ(半導体関連部品製造業)の現地視察、いきのしま・おやこ文庫代表濱裕子氏および市内校長会との意見交換会を行った。

県立埋蔵文化財センター建設に伴い、敷地を県へ30年間無償貸付するもの。



厚生常任委員会

委員長 近藤 団一

議案審査状況

6月定例会で付託された案件は条例改正1件、補正予算2件、陳情1件、要望1件の計5件。審査の結果、全議案可決した。主な内容は次のとおり。

手数料条例の一部改正

国の戸籍法一部改正により、今まで何人でも良かった申請が、不正申請を防ぐ目的で、相当の制約が課せられることに伴うもの。

市民病院における透析患者受け入れ体制の充実に関する陳情

市民病院腎友会代表と品川外科病院腎友会長から提出され、病院の事務長・管理監・管理部長同席の中で審査した。

審査の結果、医師確保・スペースの問題等が解決されるのに合わせて市長に実現を求め、議会としても実現に最大限の努力をするという意見を付けて採択した。(※詳細は15ページに記載)

身障者でも利用できるプール場の開放についての要望

身障者相談員の方から提出され、身障者に限らず脳梗塞や脳溢血患者の機能回復にプール運動浴などが大いに効

果を發揮するということに基づくもの。

審査の結果、施設の改修や専門職員配置等課題も多い、市としても身障者団体と協議し、実現に向けた努力という意見を付けて、採択した。(※詳細は15ページに記載)

委員会所管事務調査(6月16日)

市内3ヶ所の現地視察を行い、担当者からの説明を受けた。

①新焼却場建設予定地(芦辺町住吉)
②現在の焼却灰保管庫(芦辺町住吉)
③し尿処理場建設予定地(郷ノ浦町初山)



県立埋蔵文化財センター・市立一支国博物館建設地(芦辺町鶴亀触)



第83回 九州市議会議長会定期総会

長崎県13市共同提出議案「地域における医師確保対策について」の提案理由を説明する深見議長(九州市議会議長会定期総会にて)